

文芸研ニュース

2025年5月9日

—NO. 169—

発行 文芸教育研究協議会
編集 文芸研事務局



曾根先生が講師となった組合の春の
学習会の様子（詳細はP 3）

巻頭	辻委員長より	1
千葉でみなさまをお待ちしています！	2	
サークル便り（枚方）	5	
事務局通信	7	

大会提案に向けて

委員長 辻恵子

◆大会ではめりはりのある提案を

冬の実践研で教材分析などを皆さんと検討してから四カ月半、三学期実践を経て間もなく春の実践研を迎えます。どんな実践がなされたのか、これをお読みの現時点ではすでにすべての授業記録をぐらんになっている事と思います。

これまで実践研とは「文芸研の最も重要な理論と実践の基礎となり、同時に最先端の研究の場でもある」と位置付けてきました。まさにここに集まった実践は文芸研の現在地を表すものと言えるでしょう。まずは、それぞれの提案者や提案サークルから出された課題および、皆さんがお気づきになった問題点を解決していくことが必要です。しかしそれと同時に、教師それぞれの個性と学級の子ども達の個性が響き合って生み出された授業のよいところ、すばらしいところを話し合いや子ども達の感想から見出して、大いに学びたいと思います。ただ、そうしたことができるのは、サークル員として事前にレポートを十分に読むことが可能な場合だからです。

しかし全国大会で各実践を検討する場合には、時間

が限られていますから、提案者はめりはりのある提案をしてください。このままのレポートでは、どの時間・どの場面も同じような比重で仕上げられているので膨大な量となっており、大会参加者にとつてはとても読みにくいと感じます。授業記録をすべて並列的に扱うのではなく、ここぞという部分にしばって提案していただけたらありがたいです。（後で読んでくださいというのも、あまり有効ではないでしょう。）

そのために、①《たしかめ読み》の冒頭の場面、②例えば《たしかめ読み》の途中や最後の場面など多くても2か所くらい、③《まとめ読み》・・・その程度にしばったら、読みやすくなりますし、話し合いが深まると思います。

またその一時間の授業も、提案者自身が読み返して「ここはまだ導入で、どんな活動をしたか簡単な説明で構わないな」とか「ここはどんなやりとりか説明すればいいだろう」など、削れる部分は削る方が話し合いを焦点化できます。ベタなままの記録より参加者の理解を得やすいでしょう。

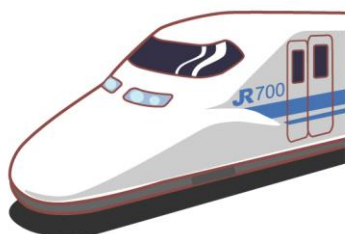
もちろん、もう出来上がったレポートを縮めるのは、どこをどう切り取るか考える必要があつて難しいかもしれませんが、よろしくお願いいたします。

◆今後のために

以前からたびたびお話ししていますが、この実践研のレポート自体を、大会レポートと同様スリムなもの

にしたなら、改めてレポートを縮める手間がなくなりま
す。全授業記録をまとめるのは提案者にとつて大きな
負担になりますから、その負担軽減のためにもぜひそ
の方向を模索してください。多忙な中、だれもが提案
者になれるようにしていきたいのです。全時間の授業
記録をまとめなくてはと思つたら「私、提案します」
と手を挙げにくいけれど、何時間か分でよいとなれ
ば、ハードルが下がります。これは次回以降への願
いです。

では実践研で大いに学び、大会へとつないでいきま
しょう。



千葉でみなさまをお待ちしています！

千葉文芸研松戸サークル 秋山亮介

2025年千葉大会が近づいてきました。8月2日
3日はぜひ千葉にお越しください！サークル員の特

に西日本の皆様からは、「千葉には行ったことがない。」という声も聞かれます。確かに、東京に用事があってもなかなか千葉に足を伸ばすことはないかもしれないですね。

まず、千葉の魅力を一気にご紹介します。

・アミューズメント施設なら↓東京ディズニーランド／シー

ふなばしアンデルセン公園、鴨川シーワールド

・グルメが好きなら↓なめろう（銚子市）タンタンメン（勝浦市）

・鉄道が好きなら↓流鉄流山線、銚子電鉄、いすみ鉄道

・花が好きなら↓南房総市、和田町

・マンガ、アニメが好きなら↓藤子・F・不二雄ミュージアム（神奈川）、

ジブリ美術館（東京）

柏は、カレー激戦区、ラーメン激戦区です。駅前においしいお店もあります。

お土産なら、白みりん（流山）醤油（野田）落花生（八街市）梨（白井市）

千葉に来たついでに、東京だけでなく、千葉の観光に目を向けてみてください。

次に、千葉大会の見所や取り組みについて紹介させていただきます。まず、講演者は荻上チキさんです。

TBSラジオ「session」で毎日幅広い知識でニュースを解説したり、論説鋭く話をしてくれたりしています。荻上さんの講演自体がそもそもなかなか聞く機会もないのではないのでしょうか。文化行事は、美炎さんが馬頭琴のコンサートをしてくれます。馬頭琴の力強くも優しい音色で学習の合間の癒しになること間違いなしです。もちろん例年も行われている公開授業、実践報告、各分科会など充実の内容です！

現地としてプレ学習会も行われています。東京では3月に、新学期に向けた絵本や4月教材の学習会を行い、参加者も豊かな学びとなりました。千葉では、4月に教職員組合の学習会に曽根先生が講師となって国語の授業で学級びらき・授業びらきの話をしてくださいました。また、神奈川では、私学の研修会に山中吾郎先生が講義をし、各所で大会のアピールと文芸教育誌の宣伝をしています。

千葉では、文芸研のOBの先生にもお手伝いをしていただけることになっています。

関東各所でサークル員が自分たちのつながりの力をもって、組合や私学、他団体とも共同しています。

また、千葉県の教育委員会、会場近隣の市の後援申請も通りました。これも宣伝に活用できそうです。

千葉大会が成功するよう現地もがんばっています！全国各地からお仲間を連れてのご参加、心よりお待ちしております！！

文芸研^{モーバ}千葉大会まであと3か月！

8月2日(土)全体会・スターズおおたかの森ホール

8月3日(日)分科会・さわやかちば県民プラザ

参加＋実行委員としてお力添いをお願いします。Help us!



⑧ 分科会会場の柏の葉公園一帯は、元々は旧陸軍柏飛行場跡地。戦後米軍柏通信所に接收された。千葉県は帝都防衛のための軍都であった。千葉市をはじめ習志野、四街道、柏等戦争施設跡が多く残る。1981年返還、広域都市公園＋スポーツ施設＋日本庭園など文化施設＋東大柏キャンパス・千葉大園芸学部柏農場として整備された。朝ドラ「アンパン」で崇(やなせたかし役)が合格した官立旧制東京高等工芸学校(千葉大工学部の前身)は空襲で焼け、戦後すぐに松戸市岩瀬の陸軍工兵学校跡に移転。現在松戸市中央公園となっている。聖徳大学のあるこの付近は裁判所関係の官舎があり、福岡伸一さんも小学生時代を過ごしたところ。(「生物と無生物のあいだ」講談社現代文庫2007のエピローグに書かれている)

⑨ また、1923年関東大震災直後の「福田村事件」を忘れてはならない。混乱の中、流言飛語が生み出した社会不安の中で、香川県からの菓の行商団15名(被差別部落出身者)が福田村(現野田市)と田中村(現柏市)の自警団に9名が虐殺された事件。2023年森達也により映画化、井浦新・田中麗奈・永山瑛太・柄本明ら出演。



サークル便り（枚方）

5月他団体とのつながり、可能性、面白さ つながること 次の校内研修につながる

大阪文芸研枚方サークル 山中尊生

4月29日（火）まるごと研に参加してきました。まるごと研とは、喜楽研が主催する学習会です。その国語の分科会担当として、福岡幸恵さんと私が声をかけていただき、低学年分科会と高学年分科会を講師として引き受けることになりました。

エル大阪という大阪では比較的学习会会場として選ばれる場所での開催でした。「初任者を想定した若い先生方に国語の大切なことを伝えて欲しい。」と言うことで、詩を使った音読に始まり、文芸作品の読み

方、説明文の深め方と1時間の中で盛りだくさんの内容でした。

盛りだくさんで心配していましたが、講座の後3人ほどの先生方から声をかけてもらい「国語専科だけど、国語の読み方に悩んでいる。」「学びになったのでまた教えてほしい。」「学校の若手の先生方にも是非聞かせたいから夏の研修で来て欲しい。」「と嬉しい声かけもありました。

また、講座の後に放課後タイムという質問コーナーがあったのも参考になりました。講座で聞きたいことや更に＋アルファの学びを求めてまた新しい参加者もいたので、より多くの方に文芸研の魅力を伝えることができました。

今回のきっかけは学校の同僚の先生から声をかけていただいたことから始まりました。さらに、その基になったのが、文芸教育誌での報告した学校での学習会が始まりです。

いま、職場を見渡してもなかなか、学年会などで教材研究する風景を見なくなりました。授業については話せても、教材に解釈について豊かに深く見る事ができる先生が減ってきたのだなと感じています。まずは、学年で教材研究の時間をとって一つの教材の話をし始めたのがきっかけです。何度も新しい教材が出る度に同僚の先生と話し合い学び合ううちに、他の学年の学年会にも参加させてもらい、教材について一緒に学ぶ機会をつくりました。

「授業が早くしたくなりました。」「こうやって教材研究の時間が一番おもしろいんですね。」と声をかけてもらうようになり、じゃあ、もう少し広げてやりましょうと校内で学習を始めたのです。

学習会が成立するポイントは、声をかける若手の先生がいるということ。管理職を巻き込んで就業時間内に学習会を組織すること。悩みの声を聞くことだなど感じました。先生方は、出来る事なら学びたい！という思いは持っています。ただ、他に仕事がある。時間外は生活がある。そこまでする余裕がないと様々な理由が「壁」として立ちほだかつています。何より、教材分析・解釈の仕方が分からないことも多いのではないのでしょうか。

その積み重ねの中で他団体の学習会の講師をさせていただきました。全国委員会やサークル代表者会議でも話が出ていますが、他団体との連携は今後文芸研の運動



の中で大きな力になると感じました。①外の学習会に参加するバイタリティある方との出会い②他団体に参加してきた連絡網による新しい出会い③文芸研の理論・授業論を磨くための交流。など恩恵もあります。これからも機会があれば積極的に挑戦いきたいと感じました。



事務局通信

新年度が始まり、皆さま忙しい日々をお過ごしのことと思います。新しい学級、新しい教材、そして新しい子どもたち。ようやく名前を覚えたとしたら、次は参観日や行事の準備…。気づけば、自分の机の上がプリントの山になっているのは、私だけでしょっか…。どうか、お体を大切にしつつ、新しい子どもたちと楽しんでいきましょう！

さて、そんな慌ただしい日々の中ですが、夏の千葉大会がじわじわと迫ってきています。松戸サークルの秋山亮介大会委員長の元、関東ブロックの皆様を中心に、着々と準備が進んでいることと思います。今年も全国の仲間とともに、国語教育の実践を深め、学び合う貴重な機会となるはずです。そのためには、事前の準備が欠かせません。

そこで、5月の実践研が重要なステップになります。「こんな授業をしてみただけど、これってアリ？」「子どもたちの反応が予想外だったけれど、どう解釈すれば？」そんな疑問や発見を持ち寄り、わいわい意見を交わしながら、お互いに学びを深めていきましょう。全国大会での提案や議論も、ここでのやりとりがあれば、ぐっと充実したものになるはずです。

ぜひ、多くの先生方にご参加いただき、それぞれの視点やアイデアを共有していただければと思います。皆さんとともに学びを深め、よりよい提案を全国に発

信できるよう、力を合わせて準備を進めてまいりましょう。どうぞよろしく願います。

☆文芸教育誌、授業シリーズの宣伝・紹介をお願いします。学習会での紹介や職場での紹介、また、SNSなども活用してよりたくさんの方の目に留まる工夫をお願いします。一冊でも多く購入してもらい、文芸研の活動を広げ、一緒に学び合う仲間を増やしていきましょう。

☆新年度になりました。サークル会費の納入をよろしくお願いします。早めにすべてのサークルが納入してくださいと、何度もゆうちょ銀行に確認に行かなくてすみますので、とっても助かります。夏の大会までの納入にご協力よろしく願います。

今後の予定

7月19日(土) 20時～ 全国委員会

8月1日(金) 17時～19時

サークル代表者会議 兼 総会

8月2日(土) 3日(日)

千葉大会

8月23日(土) 20時～

サークル代表者会議

***その他の予定は、文芸研の年間計画でご確認ください。**